

第129期 報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

TAKEBISHI REPORT

129

株
主
の
皆
様
へ

 株式会社 **たけびし**

証券コード:7510

京都の町で、技術商社として育まれて90年。

たけびしは、お客様に満足と感動を提供してまいりました。

弛まぬ革新を続ける古都が秘めている「時代への適応力」をしっかりと受け継ぎ、
これからも時代の最先端で挑戦を続けてまいります。

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は1926年の創業以来、京都・滋賀地区を主力地盤に、三菱電機製品を中心とした

産業用電機・電子機器を取扱う技術商社として、多くのお客様に支えられながら今日の経営基盤を築いてまいりました。

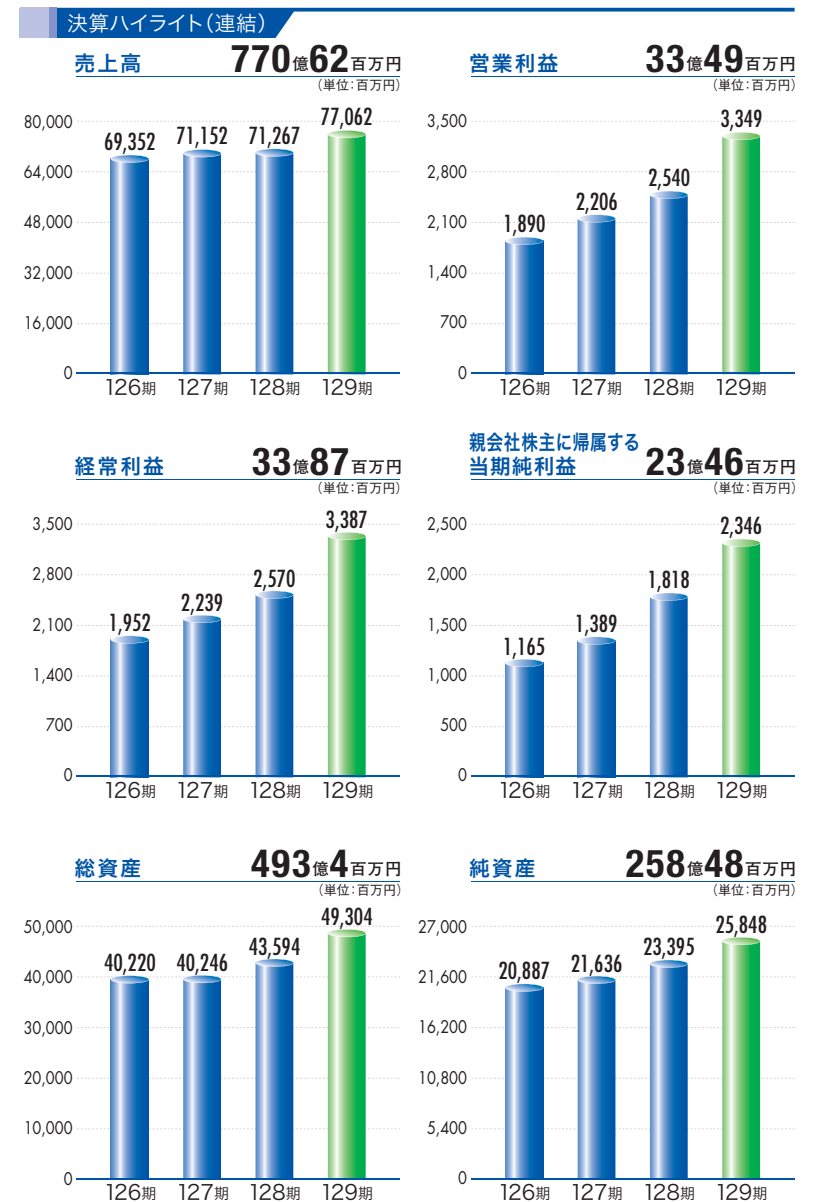
“たけびし”は、産業機器、半導体・デバイス、社会インフラ、情報通信という社会のあらゆるシーンにおいて、

お客様の満足と感動を提供し続ける“トータルソリューション技術商社”として、時代の最先端で挑戦を続けてまいります。

“京都発 最強の技術商社”を目指し、これからも皆様と共に歩んでまいり所存です。今後ともご愛顧の程よろしくお願い致します。

株主の皆様におかれましても、なにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 小倉 勇

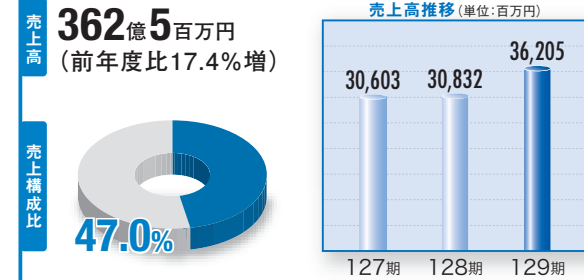


連結貸借対照表(要旨)			連結損益計算書(要旨)		
(単位:百万円)			(単位:百万円)		
科 目	当連結会計年度 (平成30年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成29年3月31日現在)	科 目	当連結会計年度 [平成29年4月 1日から 平成30年3月31日まで]	前連結会計年度 [平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで]
資 産 の 部			売 上 高		
流 動 資 産	40,070	35,114	売 上 原 価	65,993	61,591
固 定 資 産	9,234	8,479	売 上 総 利 益	11,069	9,676
POINT-1 資 産 合 計	49,304	43,594	販売費及び一般管理費	7,720	7,136
負 債 の 部			営 業 利 益	3,349	2,540
流 動 負 債	21,659	18,643	営 業 外 収 益	171	172
固 定 負 債	1,796	1,554	営 業 外 費 用	133	142
POINT-2 負 債 合 計	23,456	20,198	経 常 利 益	3,387	2,570
純 資 産 の 部			特 別 利 益	244	172
株 主 資 本	24,418	22,631	特 別 損 失	190	11
その他の包括利益累計額	1,429	763	税金等調整前当期純利益	3,440	2,731
POINT-3 純 資 産 合 計	25,848	23,395	法人税、住民税及び事業税	1,151	930
負 債 純 資 産 合 計	49,304	43,594	法人税等調整額	△ 57	△ 17
(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。			当 期 純 利 益	2,346	1,818
			親会社株主に帰属する当期純利益	2,346	1,818
			(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。		

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)			財務ポイント		
(単位:百万円)					
科 目	当連結会計年度 [平成29年4月 1日から 平成30年3月31日まで]	前連結会計年度 [平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで]	POINT-1 資産合計(流動・固定資産)		
POINT-4 営業活動による キャッシュ・フロー	3,101	538	当連結会計年度末における資産の残高は、流動・固定合計で前連結会計年度末比57億10百万円増加し、493億4百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加28億17百万円、売上債権の増加13億18百万円、投資有価証券の増加9億39百万円によるものであります。		
POINT-5 投資活動による キャッシュ・フロー	203	△ 197	POINT-2 負債合計(流動・固定負債)		
POINT-6 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 538	△ 813	当連結会計年度末における負債の残高は、流動・固定合計で前連結会計年度末比32億57百万円増加し、234億56百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少19億37百万円、前受金の増加44億15百万円によるものであります。		
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	△ 27	POINT-3 純資産合計		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,797	△ 500	当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末比24億52百万円増加し、258億48百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加17億86百万円によるものであります。なお、当連結会計年度末の自己資本比率は52.4%となっております。		
現金及び現金同等物の期首残高	3,818	4,318	POINT-4 営業活動によるキャッシュ・フロー		
現金及び現金同等物の期末残高	6,615	3,818	営業活動の結果得られた資金は、31億1百万円(前連結会計年度は同5億38百万円)となりました。これは主に、仕入債務の減少と売上債権の増加等の要因により一部相殺されたものの、前受金が44億15百万円増加したことと、税金等調整前当期純利益が34億40百万円あったことによるものであります。		
(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。			POINT-5 投資活動によるキャッシュ・フロー		
			投資活動の結果得られた資金は、2億3百万円(前連結会計年度は1億97百万円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入が2億66百万円あったことによるものであります。		
			POINT-6 財務活動によるキャッシュ・フロー		
			財務活動の結果使用した資金は、5億38百万円(前連結会計年度は同8億13百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額が5億59百万円あったことによるものであります。		

[FA・デバイス事業]

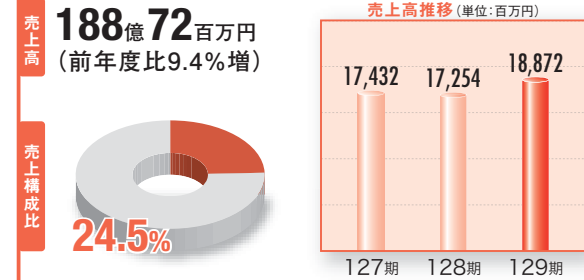
産業機器システム Industrial equipment and Systems



産業機器システム分野においては、半導体、電子部品等の製造装置向けFA機器及び、産業用加工機が好調に推移しました。また、電子部品検査向け等で装置システムが増加しました。この結果、当部門全体の売上高は、前年度比17.4%の増加となりました。



半導体・デバイス Semiconductors and Devices

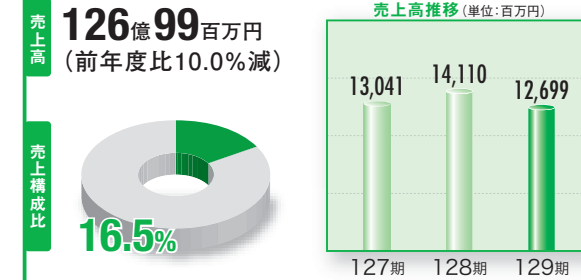


半導体・デバイス分野においては、電子ペーパー等の新規デバイス商材に加え、半導体製造装置向けを中心に産業用PCが拡大すると共に、産業機器関連向けの半導体が好調に推移しました。この結果、当部門全体の売上高は、前年度比9.4%の増加となりました。



[社会・情報通信事業]

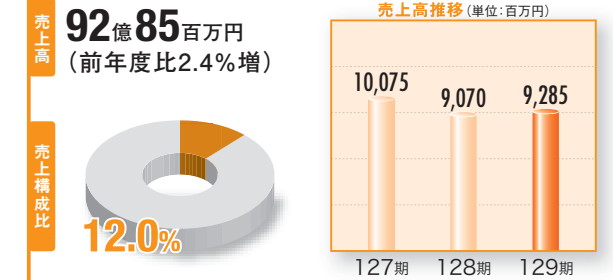
社会インフラ Social Infrastructure



社会インフラ分野においては、冷熱・住設の設備案件が増加したものの、病院向け放射線治療装置が更新需要の谷間となり減少しました。この結果、当部門全体の売上高は、前年度比10.0%の減少となりました。



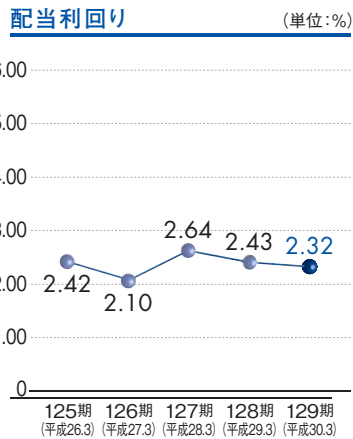
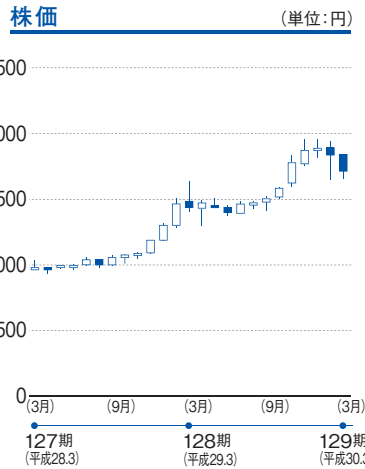
情報通信 Information and Communications equipment



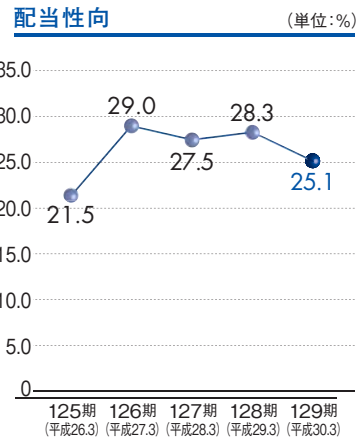
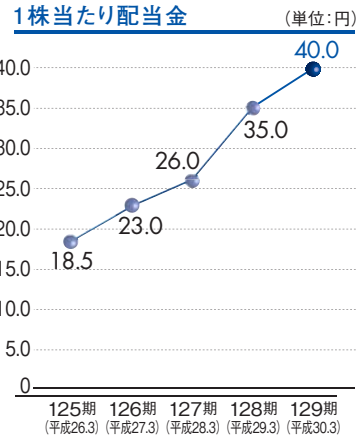
情報通信分野においては、主力の携帯電話が前年並であったものの、PC、サーバー等が増加しました。この結果、当部門全体の売上高は、前年度比2.4%の増加となりました。



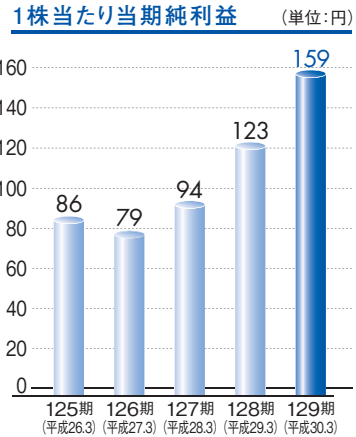
株価・配当利回りの推移



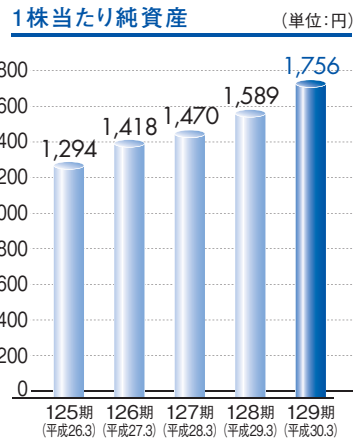
1株当たり配当金・配当性向の推移



1株当たり当期純利益・1株当たり純資産の推移



(注)円未満を切り捨てて表示しております。



(注)円未満を切り捨てて表示しております。



トピックス

Topics

弊社では、全社をあげて下記の業務改善コンテストを実施し、業務効率化・労働時間の短縮に努めています。

業務改善
コンテスト

みやこのコロンブス

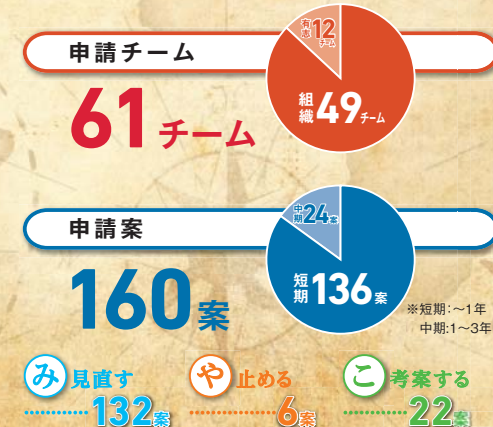
み見直す!

や止める!

こ考案する!

業務改善を通じ、「やりがいのある仕事ができる職場にする」、「長時間労働をなくし、仕事と生活の調和が取れたワークスタイルを実現させる」ことを目的とする。

全員が現在の仕事のやり方に疑問を持ち、業務効率と営業効率の改善、ムダの排除に取り組む。どんな大胆なアイデア、小さなアイデアでもよいので失敗を恐れずドンドン出し合い実践する。



提案事例

- 倉庫の棚番号運用見直しによる物流の効率化
 - 削減時間 30 Hr/月
 - 外部倉庫 280 Hr/月
- 伝票入力方法見直しによる処理時間の短縮
 - 削減時間 120 Hr/月
- Web照会システム導入による客先からの問合せ業務の削減
 - 削減時間 25 Hr/月

会社情報

商 号 株式会社 たけびし
英文商号 TAKEBISHI CORPORATION
設 立 大正15年(1926年)4月24日
資 本 金 25億5,472万5,400円
上 場 市 場 東京証券取引所市場第一部
人 員 従業員(連結)577人(単独)368人
総人員(連結)695人(単独)395人
※総人員には臨時雇用を含む。
本 社 京都市右京区西京極豆田町29番地
支 店 東京(横浜市港北区) 名古屋(名古屋市中村区)
滋賀(滋賀県彦根市) 栗東(滋賀県栗東市)
畿北(京都府福知山市) 大阪(大阪市北区)
九州(福岡市博多区)
営 業 所 甲府(山梨県甲府市)
関係会社 国内:(株)フジテレコムズ、(株)TSエンジニアリング、
竹菱興産(株)
海外:竹菱香港有限公司、竹菱(上海)電子貿易有限公司、
竹菱(上海)電子貿易有限公司 天津分公司
TAKEBISHI EUROPE B.V.
TAKEBISHI (THAILAND) CO.,LTD.

ホームページ <http://www.takebishi.co.jp>

役員及び執行役員 (平成30年6月27日現在)

取締役会長	藤原宏之
代表取締役社長	小倉之勇
取締役専務執行役員	橋本孝
取締役上席常務執行役員	亀井正憲
取締役執行役員	西田正和
取締役執行役員	坂口彦志
取締役執行役員	岡垣浩志
取締役執行役員	中内克寛
取締役(相談役)	岩田久志
社外取締役	平井出浩
取締役(常勤監査等委員)	松木明裕
社外取締役(監査等委員)	廣瀬善紀
社外取締役(監査等委員)	山田紀夫
常務執行役員	竹中秀夫

株式情報

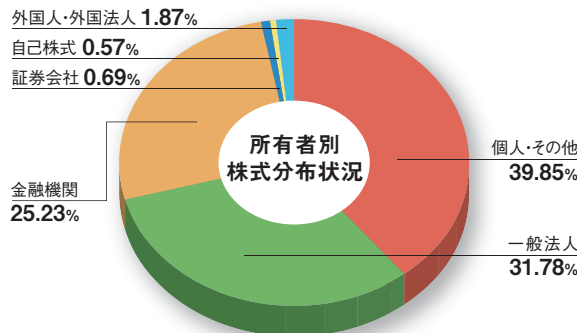
- 発行可能株式総数: 28,280,000株
- 発行済株式の総数: 14,798,600株
- 株主数: 13,184名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	2,340	15.90
株式会社立花エレクトック	1,059	7.20
株式会社サンセイテクノス	763	5.19
たけびし従業員持株会	710	4.83
株式会社三菱東京UFJ銀行	562	3.82
矢野チズ子	438	2.98
株式会社京都銀行	428	2.91
三菱UFJ信託銀行株式会社	326	2.22
京都中央信用金庫	253	1.72
株式会社滋賀銀行	237	1.61

(注) 1. 持株比率は自己株式(83,789株)を控除して計算しております。
2. 株式会社立花エレクトックの持株数には、株式会社立花エレクトックが退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式600千株(持株比率4.08%)を含んでおります。
3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日に株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

株式分布状況



株主様向け INFORMATION

探しやすい 読みやすい

IR情報トップ

IRサイトのご案内

当社のIRサイトでは、IRニュースや決算情報、業績ハイライト等を掲載しています。最新情報を分かりやすくご提供できるよう取組んでおりますので、ぜひご覧ください。

IRニュース・決算情報をご覧いただけます。

業績ハイライト 過去からの業績推移等をグラフでご覧いただけます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
剰余金の配当	定時株主総会 3月31日 期末3月31日 中間9月30日 (その他必要ある場合は、公告のうえ設定します)
株主名簿管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777 (土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)
公 告 方 法	電子公告の方法により行います。 (ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。) 公告掲載URL (http://www.takebishi.co.jp)

ご 注 意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎ致します。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払い致します。

<http://www.takebishi.co.jp>

本社／〒615-8501 京都市右京区西京極豆田町29番地 TEL(075)325-2111 FAX(075)325-2250



環境に配慮した植物油インキを使用しております。